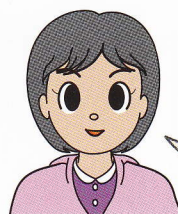


わたらせゆうすいち やちょう 渡良瀬遊水地の野鳥について調べよう

ゆうかさんたちは、^{やなかこ}谷中湖の真ん中にある中の島の野鳥^{かんさつだい}観察台に行ってみました。

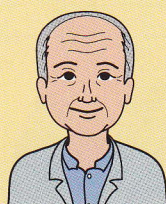


↑ 中の島の野鳥観察台



冬になると、カモなどの水鳥^{みずとり}や、チュウヒが、たくさん見られるよ。

1年じゅう見られる鳥と、^{きせつ}季節ごとに見られる鳥



渡良瀬遊水地には、1年を通してくらしている種類^{しゅるい}の鳥がいます。

また、春に南の国からやってきて夏をすごし、秋には南の国にもどる夏鳥や、秋に北の国からやってきて冬をすごし、冬が終わると北の国にもどる冬鳥もいます。

1年じゅう見られる野鳥

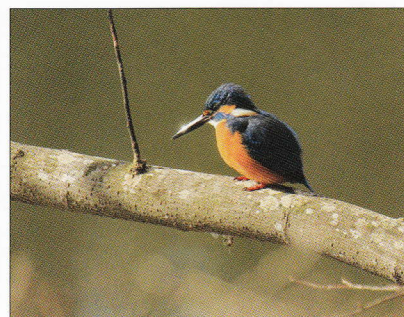
(★は絶滅^{ぜつめつ}するおそれのある野鳥)



オオタカ★



アオサギ



カワセミ

遊水地 クイズ

Q3の答え

③ 50か所

(栃木県では、^{おく}「奥日光の湿原」と^{しつげん}「渡良瀬遊水地」の2か所が登録^{どうろく}されています。)

春から夏に見られる野鳥^{や ちょう}

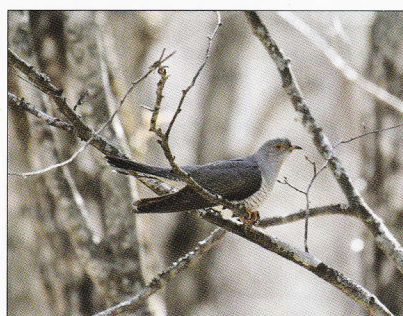
(★は絶滅^{ぜつめつ}するおそれのある野鳥)



サシバ★



オオヨシキリ



カッコウ

冬から春に見られる野鳥

(★は絶滅するおそれのある野鳥)



マガン★

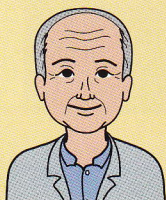


チュウヒ★

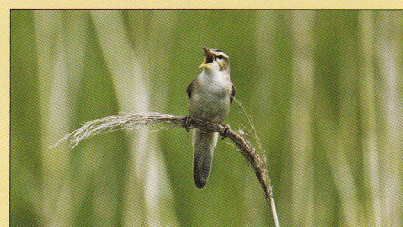


ベニマシコ

やく しゅるい かくにん 約260種類の野鳥を確認



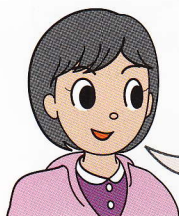
渡良瀬遊水地^{わたらせゆうすいち}は、チュウヒが冬をこす場所としては、日本有数の場所です。また、ヨシ原は、体の小さいコヨシキリやオオセッカなどの野鳥にとって、身にかくせる安全なすみかになるのです。渡良瀬遊水地では、約260種類の野鳥が確認されています。一つの場所で、これほどたくさんの種類の鳥が見られるのはひじょうにめずらしいことなのです。このことから、渡良瀬遊水地の自然は貴重^{しぜん きちゆう}なもので、多様性^{たようせい}のあることがわかります。



↑ コヨシキリ



↑ オオセッカ



遠い南の国や北の国からやってくるわたり鳥のすみかになっているんだね。こんなにたくさんの種類の鳥がすんでいるなんてすごいね。

渡良瀬遊水地は、野鳥にとって安全で、えさが手に入りやすいので、くらしやすい場所だからだね。

